

事業実施報告書

和歌山ロータリークラブ
社会奉仕委員会
新世代委員会

障害者水泳教室「みんなで楽しく水しぶき！」

事業内容

主催	紀州水泳愛好会
共催	和歌山ロータリークラブ
後援	NPO 海南市温水プール NPO Big Brothers and Sisters Movement 21 School NPO WISC (日本泳法岩倉流) NPO 和歌山コミュニティスポーツ
開催日	平成18年3月19日(日) 13:00~16:00
会場	和歌山市民温水プール
主旨	水中スポーツに慣れ親しむ機会の少ない障害者を対象に、プールでのイベント(水泳教室、レクリエーション)を開催し、体力の維持増進、機能回復を図ると共に、社会参加への活力を育む。
実施方法	個人の泳力レベルに応じて各クラスに分かれ、指導者のもと各クラスの泳力にあった内容での授業(レクリエーション)を実施する。
泳力目標	水慣れクラス 水遊びから水中歩行ができることを目標とする。 初級クラス 水中歩行から浮き身、5mクロールができる。 同時にビート板を持ち、板キックができることを目標とする。 中級クラス以上 25m完泳することを目標とする。
対象者	知的障害者デイサービス事業所ランドマーク 和歌山県立紀伊コスモス養護学校の全校生徒 紀州水泳愛好会が推薦した団体の個人参加者
参加者	
障害者	21名 (知的障害者20名 身体障害者1名)
指導者	紀州水泳愛好会メンバー(30名) 紀州水泳愛好会とは、和歌山県内を中心に活動する競泳国体選手や元水泳競技者、実業団水泳競技者など、水泳を愛する個人が、此の企画をきっかけに集まった団体です。
ホーター その他	受付・会場設営・会場案内・記録・報道対応・更衣介助・医師など、R-列アソ(23名) 父兄・各施設の介護者も多数参加。

ロータリークラブとしての事業の位置付け

1. 障害者への支援
2. 障害者スポーツ指導者の育成・支援
3. 健常者への障害者援助活動の啓蒙

目標とする成果 継続できる体制の構築

人材の確保・準備資金の目途・参加者確保のルート など

上記のとおり実施した。

我々の思いと紀州水泳愛好会の熱意とがうまく醸成され、思った以上の楽しい雰囲気醸し出された。参加団体のサポーターの方からも、普段と違う表情が見えた、水泳は障害者には本当に効果のあるスポーツなので有り難いです、身体を良く動かしていた、などという声をいただいたほか、見ていてもわかるほど短時間で水慣れしていくなど、参加者の障害に応じた成果はあったのではないかと思います。

今回の活動では、指導に当たった水泳選手達も、全く初めての経験だった事も注目すべきである。事前に、何回か指導の体験講習を行い、若干の不安も持ちながらのふれあいの中で、充実した成果を体感したのではないかと思います。又、パリンピック銅メダルの中村智太郎氏の水泳には、見学者から驚嘆の声があがった。今回の活動で、多くの人たちの障害者への視線・意識が変わったのではないかと期待している。

今後の課題

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1．支援層の拡大 | 金銭的バックの安定化 |
| 2．参加者募集ルートの拡大 | 施設以外の閉じこもりがちな障害者へのアピール |

以上